

RFキャプチャ & プレーヤー (4ダイバーシチ/2ダイバーシチ対応)

4422B

～1筐体で4系統のRF信号の記録/再生を実現～

概要

本装置は、フィールドのRF信号を記録し、データを持ち帰り再生することで、工場や研究室においてもフィールドと同じ受信環境で受信機の動作確認を行うことができる装置です。4ダイバーシチRF信号の記録と再生に対応しており、車載用TV等のフィールド再現試験に最適な装置です。4ダイバーシチモデルに加え、2ダイバーシチモデルも御用意しております。



※4ダイバーシチ型の写真です。

特長

コンパクトサイズ

4ダイバーシチに対応した記録/再生部を小型・軽量の筐体に収めました。各種設定やスペクトラムのモニター等は、制御用のPCにて行います。

幅広い周波数範囲

周波数範囲：100kHz～30MHz 及び 30MHz～1006MHz (※2)

記録帯域幅：1MHz, 8MHz, 24MHz, 30MHz (100kHz～30MHzのみ)

(制御用アプリケーション)

4系統の信号の位相が同期 (※3)

ソリッドステートドライブ(SSD)を2TByte搭載

DC+12V入力に対応 (外部バッテリーは別途ご用意ください)

USB3.0ポート搭載

スペクトラム表示機能

スペクトラム表示機能により、信号のスペクトラムを確認しながらの記録・再生が可能です。

Low Noise Amplifierを装備

微弱な信号の記録をおこなう際の劣化を最小限に抑えられます。

Auto Cal機能

RF信号をキャプチャする際、記録時のレベル設定を自動的に行うAuto Cal機能を搭載しております。

GPSモジュール内蔵

付属のアンテナを使用することで、記録データに時刻と位置情報を埋め込むことが可能です。

スケジュール記録機能

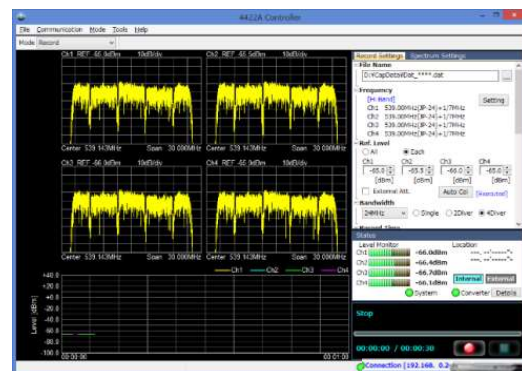
記録開始日時を指定して記録を行うことが可能です。深夜の試験放送などを記録する際、無人で記録を開始する事が出来ます。

※1 本装置は高周波信号解析や受信機評価試験の目的で製作されております。

本来の目的以外での使用はしないでください。またコンテンツ複製目的での使用は禁じられておりますので十分ご注意ください。

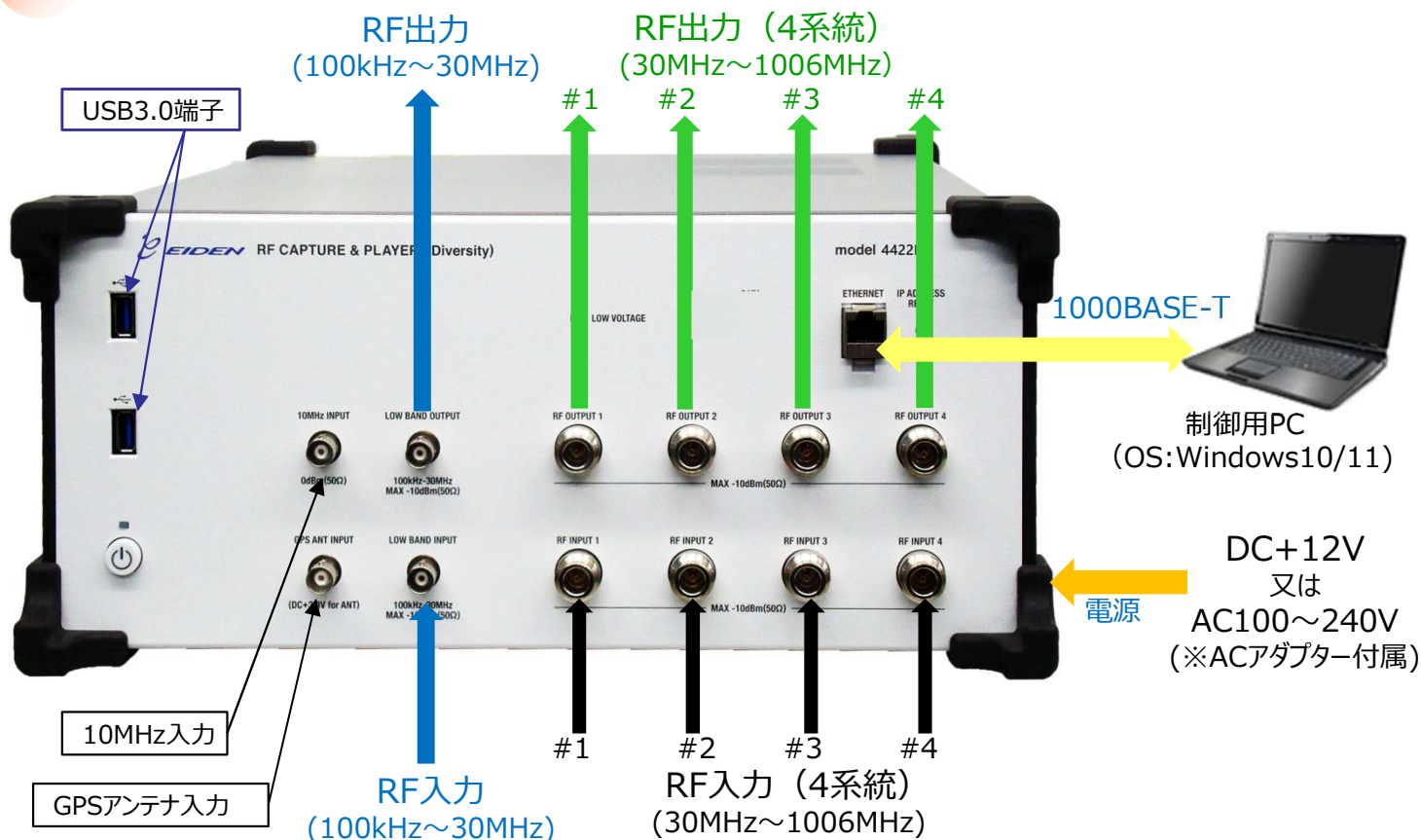
※2 記録する帯域幅によって、設定可能な中心周波数の下限と上限が制限されます。

※3 各チャンネル間の遅延時間差は、±2ns以内です。



システム構成

※4ダイバーシティ型の構成です。2ダイバーシティ型は#3,#4が削除されます。



型式

型式	系統数	備考
4422B	4ダイバーシティ	1系統(Single)、2ダイバーシティでの使用可能。
4422B-002	2ダイバーシティ	1系統(Single)での使用可能。

記録時間

(SSD容量：2TByte)

Mode	帯域幅	記録時間
Single	1MHz	最大96時間
	8MHz	最大12時間
	24MHz	最大4時間
4Diversity	1MHz	最大24時間
	8MHz	最大3時間
	24MHz	最大1時間

構成

項目	内容
寸法	W:350 x H:160 x D:490(mm) ※突起物を含まない
質量	約19kg ※4ダイバーシティ型の場合
電源環境 (単相交流)	AC100V~AC240V (最大消費電力：220W@240V) ※4ダイバーシティ型の場合
電源環境 (直流)	DC+12V (+10V~+14V) (最大消費電力：18.3A@+12V) ※4ダイバーシティ型の場合

